平成２２年度　学校経営計画に対する中間評価

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）及び後期の扱い（改善策等）
1 授業研究や校内研修等の実施をとおしての教員の専門性向上と授業改善の推進	① 授業案検討会、研究授業、授業整理会の持ち方を見直し、改善・工夫し実践することで、個々の教師の授業力の向上と専門性の向上を図る。	授業研究が今後の自分の授業に活かせる内容であると Ａ：十分感じた Ｂ：おおむね感じた Ｃ：あまり感じなかった Ｄ：ほとんど感じなかった	アンケート調査の結果は Ａ：２２．２％ Ｂ：７７．８％ Ｃ：　　０％ Ｄ：　　０％ 評価　Ｂ	・授業研究を小学部が２回と中学部が１回行った。今年度は、全教職員ができるだけ参観できるよう配慮したり、授業整理会で教職員が全員発言できるようにＫＪ法を用いたりした。その結果、活発な意見交換ができ、満足感を持つ教員が多かった。また、七尾本校の研究会に研究推進委員が中心となって参加し授業の見直しを図った。 ・今後は授業研究を予定通り実施し、各部のテーマに沿った研究を進め、授業力向上を図りたい。
	② 障害特性の理解や支援・指導方法についての研修会を行い、教員の専門性向上を図る。	障害特性の理解に関する研修会を Ａ：年４回以上実施 Ｂ：年３回実施 Ｃ：年２回以下実施 Ｄ：実施しなかった	障害特性の理解に関する研修会を２回実施 評価　Ｂ	・全校児童生徒を対象とした児童生徒理解研修を４月に３回に分けて実施し、職員の共通理解を図ることができた。また、夏季休業中に自閉症の理解をテーマとした研修を２回に分けて実施し、応用行動分析の視点から生徒の行動上の問題について取るべき支援についても検討した。 ・今後は、アセスメントの結果を児童生徒への指導や支援に反映させるための研修を行いたい。
		教師の専門性に十分満足している保護者の割合が Ａ：８５％以上 Ｂ：７５％以上８５％未満 Ｃ：６５％以上７５％未満 Ｄ：６５％未満	アンケート調査の結果は 十分満足：５６％ 概ね満足：４４％ やや不満：　０％ 不　満　：　０％ 評価　Ｄ	・教師の専門性に十分満足している保護者は、小学部４４％、中学部６３％、高等部６３％であった。小学部が一番低いが、授業に十分満足している保護者は小学部７８％、中学部５０％、高等部７５％であり、小学部が一番高いという結果であった。 ・授業を充実させるだけではなく懇談の持ち方等を工夫して、保護者が教師の専門性にも満足できるよう努めていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	・特別支援学校の免許所持率が６割弱という現状の中で専門性の向上を図るのは大変だと思うが、校内研修等の実施を通して地域における特別支援教育の拠点校として頑張って欲しい。 ・保護者から見ると、授業に関しては参観を通して見ればわかるが、専門性に関しては言葉の意味をどうとらえればよいかがわかりにくい。そのため、授業に比べて評価が低くなったのではないか。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策	・計画どおりに研究授業と障害特性の理解に関する研修会を実施する。 ・専門性に関しては言葉の意味がわかりにくいので、「専門性（授業及び懇談内容）」と明記してアンケート調査する。また、授業参観日に各教室に授業のねらい及び指導内容を記入した略案を掲示し、保護者がよりわかりやすくなるよう努める。			
2 地域の資源を活用した計画的な教育活動ならびに地域との交流活動の推進	① 地域の高齢者団体「ほのぼの会」と定期的に多様な活動を一緒に行い、交流する。	「ほのぼの会」との交流の実施回数は Ａ：５回以上 Ｂ：４回 Ｃ：３回 Ｄ：２回以下	２回実施 評価　Ｂ	・一学期は児童が運動会の招待状を作って送り、運動会の種目に一緒に参加した。二学期はすず分校祭当日に行う踊りを事前に教えてもらう機会を設け、小学部３年生以上の７名の児童が地域の集会所に集まり交流を図った。 ・今後、すず分校祭だけではなく１２月にも交流する予定である。

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）及び後期の扱い（改善策等）
2 地域の資源を活用した計画的な教育活動ならびに地域との交流活動の推進	② 地域の方々とグラウンドゴルフ等をとおしての交流を行う。	グラウンドゴルフ等をとおしての交流の実施回数は A：３回以上 B：２回 C：１回 D：実施しなかった	グラウンドゴルフを ２回実施 評価　B	・珠洲市グラウンドゴルフ協会の協力を得て、１０月中旬までに２回実施することができた。生徒達は大まかなルールを理解して一緒に楽しむことができた。 ・道具を使った運動には、十分参加できない生徒もいるが、個別指導を行うことで運動することの楽しさを理解させて交流を行っていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	・ほのぼの会との交流は地域のばあちゃんたちは喜んでいる。集会場か学校で中・高等部が読み聞かせなどを通しての交流も行ったらどうか。 ・グラウンドゴルフは余暇活動にもつながるので協会の方を活用すると良い。公民館主催の大会等もあるので、公民館との交流も可能である。 ・よさこいソーランの交流で中学校から珠洲分校へ出向いての交流を行っているが、珠洲分校から中学校と公民館の文化祭に出向いての交流があってもよいと思う。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策	・「ほのぼの会」との交流に関しては、小学部が継続して実施するとともに、中・高等部も高齢者施設等で実施している読み聞かせの会を「ほのぼの会」の方々の前で実施し交流する。 ・グラウンドゴルフ等をとおしての交流だけではなく、次年度は三崎中学校ならびに三崎公民館へ出向いての交流も実施の方向で検討する。			
3 キャリア教育の推進と進路指導の充実	① 長期的展望にたち、関係機関と連携して珠洲市、能登町、輪島市での職場実習及び職場開拓を行う。	新たに開拓した実習協力企業は A：３社以上 B：２社 C：１社 D：０社	新たに開拓した実習協力企業　２カ所 評価　B	・輪島市では社会福祉法人「みやび」、珠洲市では「ＪＡすずし」が職場実習生の受け入れを承諾してくださった。また、「みやび」からは就労についても検討するとの回答をいただいた。 ・今後、能登町と珠洲市の企業を訪問し、職場開拓につなげていきたい。
	② 児童生徒の実態及び保護者のニーズに応じた中・高親子施設見学や進路研修会の内容を工夫し、進路指導の充実を図る。	中・高親子施設見学や進路研修会の内容に A：８割以上が満足 B：７割以上８割未満が満足 C：６割以上７割未満が満足 D：６割未満が満足	十分満足　４６％ 概ね満足　５４％ やや不満　０％ 不満　０％ 評価　A	・中・高等部親子施設見学では能登町の「礎会」と輪島市の「あすなろ作業所」の２カ所を見学した。保護者１６名の内１４名が参加し、アンケート結果では８割以上が満足していた。 ・１２月に予定している進路研修会においても保護者が満足できるように内容を工夫したい。
	③ 部・学級だよりや連絡帳、保護者懇談等をとおして、保護者の協力を得ながら、家庭でお手伝いをする児童生徒の割合を高める。	家庭でお手伝いをする児童生徒の割合が A：７割以上 B：６割以上７割未満 C：５割以上６割未満 D：５割未満	毎日お手伝いをしている　５４％ していない ４６％ 評価　C	・連絡帳、保護者懇談、家庭訪問等をとおして、保護者の協力を得ながら、家庭でお手伝いをするよう働きかけた。その結果、全校児童生徒の約半数は毎日お手伝いをしている。また普段お手伝いをしないが、週末や長期休業中にお手伝いをする児童生徒も含めると小学部６３％、中学部８８％、高等部７５％という結果であった。 ・家庭でのお手伝いは将来の就労にも結びつくと思われるので、今後も保護者の協力を得ながら取り組みを進めていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	・能登北部地域における雇用環境は厳しい現状であるが、ハローワークと連携しながら頑張って欲しい。 ・お手伝いは、将来的に本人のためにもなるし、小さい時からさせていくとよい。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策	・今後もハローワークとの連携を行うとともに、進路指導課員が中心となって職場開拓に努める。 ・学級だよりや連絡帳を活用したり、保護者懇談等をとおして、保護者にお手伝いの大切さの理解を図るとともに協力を依頼していく。			

<table>
<tr><th>重点目標</th><th>具体的取組</th><th>実現状況の達成度判断基準</th><th>集計結果</th><th>分析（成果と課題）及び後期の扱い（改善策等）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4 授業や校務等にＩＣＴを活用する能力を高める取り組みの推進</td><td rowspan="2">① ワードやエクセルなどのソフトを活用する研修会を実施し、教職員のＩＣＴ活用能力の向上を図る。</td><td>ソフトを活用する研修会を
Ａ：年３回以上実施
Ｂ：年２回実施
Ｃ：年１回実施
Ｄ：実施しなかった</td><td>研修会実施回数
１回

評価　Ｂ</td><td>・夏季休業中にワードについての研修会を１回実施した。
・今後、エクセルやパワーポイントなど、校務等に活用できるソフトの研修会を実施したい。</td></tr>
<tr><td>ワードやエクセルなどのソフトを校務等に活用できる教員の割合が
Ａ：７割以上
Ｂ：６割以上７割未満
Ｃ：５割以上６割未満
Ｄ：５割未満</td><td><table><tr><th></th><th>ワード</th><th>エクセル</th></tr><tr><td>A</td><td>22%</td><td>11%</td></tr><tr><td>B</td><td>61%</td><td>50%</td></tr><tr><td>C</td><td>6%</td><td>17%</td></tr><tr><td>D</td><td>11%</td><td>22%</td></tr></table>Ａ：十分活用
Ｂ：おおむね活用
Ｃ：あまり
Ｄ：ほとんど不可

評価　Ｂ</td><td>・研修会を実施したこともあり、ワードに関しては８割以上が十分又はおおむね活用できている。しかし、エクセルに関しては十分又はおおむね活用できている教員は６割しかいないので、今後はエクセルについての研修会を行い、エクセルの活用能力向上を図りたい。
・ワードに関しては１１%、エクセルに関しては２２%の教員がほとんど活用できていないので、今後の研修に関しては校務にすぐに活かせるよう、研修会の内容をより実践的なものにすることを検討したい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校関係者評価委員会の評価</td><td colspan="3">・小・中学校も今年４月より市からノートパソコンが一人一台貸与になった。ワードとエクセルしか入っていないが、５０代の教職員はこれまで一太郎を使ってきたため、市に要望して一太郎を入れてもらった。
・我々の年代（６０代）になると、インターネットとかも抵抗がある。年齢が上がるにつれて難しい面があるのではないか。
・慣れてくるとワードとかも使えるようになるので、校内研修をとおしてわからない所は自ら聞いて教えてもらって学ぶことが必要である。</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善方策</td><td colspan="3">・校務にすぐに活かせるような実践的な内容になるように工夫して、エクセルとパワーポイントの研修会を実施する。
・ほとんど活用できない教員に対しては、校内情報委員会の委員が必要に応じて個別に支援する。</td></tr>
</table>